

第 35 期 第 2 回 理事会 議事録

日時：2024 年 5 月 18 日（土）14:00～17:15

場所：Zoom 会議

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、荒木、岡原（記）、小笠原、喜多村、楠本、倉岡、高畑、佐藤、清水、中谷、西、橋元、樋上、深井、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本

特別参加（動画資料ご提供）：堀江正知 先生/副学長

欠席：池上、加藤、久保

1. 会長挨拶・活動報告（西）

前回の理事会から約 4 ヶ月間が経った。この間に会員の管理に関する課題に直面した。先日は産業医医科大学に行き、産業保健学部の看護学科と産業衛生科学科の学生と交流した。医学部学生向けには大学講義を担当することになった。諸事情あって今年 OHAS が開催されないが、今年の学会専門医試験受験者が多いと聞いたので、急遽 OHAS の代わりになる研修会を産推研で提供しようと考えている。今日も理事の皆さんといろいろと意見交換ができればと思っています。

2. 大学近況（副学長 堀江様）

[教育]

卒業式・入学式を入場制限せずに举行

【医学部】

令和 5 年度)

医学部 4 年生の CBT・OSCE が公的化され、合格者はスチューデントドクターの称号を得てポリクリにおいて医行為が可能となる

医学部 5 年生の産業医学 V を改訂。10 月にシミュレーション実習、11 月に総合試験 II、12 月に現場実習の予定。

令和 4 年版医学教育モデル・コア・カリキュラム対応

令和 6 年度)

新カリキュラムが 6 年生に到達

1 年生の産業医学 I を改訂、労働基準法など産業保健の基礎について学べる内容にした。

【産業保健学部看護学科】

令和 8 年度カリキュラムから改正指定規則対応予定

【産業保健学部産業衛生科学科】

産業衛生科学科第 1 回生卒業（17 人）

衛生工学衛生管理者研修（卒業直後実施、全員受講）

産業医大認定ハイジニスト制度発足（令和 7 年に実施）

厚生労働省労働基準局の化学物質管理専門家に認定（令和 5 年 7 月 14 日付け基発 0714 第 8 号）

【入試】

医学部	定員	志願者	合格者	入学者
学校推薦型 25	98	25	25	
総合選抜	10	49	2	2
一般選抜 A 方式	60	1510	97	73
一般選抜 B 方式	5	468	5	2
一般選抜 C 方式	5	45	4	3
看護学科	70	274	155	70
産業衛生科学科	55	34	20	20

【国家試験】

医師国家試験合格率 99.0%（全国 4 位）

保健師国家試験 100.0%

看護師国家試験 100.0%

[研究]

THE 世界大学ランキング 九州で第3位

大規模研究費獲得プロジェクトワーキングチーム設置

大型研究費申請中

高度医療人材養成事業（医師養成課程充実のための教育環境整備）

オープンアクセス加速化事業

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

高度医療人材養成拠点形成事業により内視鏡下手術支援ロボット Da Vinci 整備

学術コンサルティング事業

[産業保健職養成]

産業医新規従事者数 70 人以上/年、令和 5 年度実績は 88 名

医学部卒業生の不同意離脱

日本専門医機構による従事要件がある専攻医の不同意離脱に関する日本経団連、連合、労働者健康安全機構、弁護士、法学者等による検討会の答申を受けた本学の方針を 2024 年 2 月 19 日付けで不同意離脱の可能性のある卒業生 23 名に文書送付し、15 名は取下げ、8 名は離脱（退職）

[病院運営]

急性期診療棟（2023 年 8 月 17 日開院）の病床稼働率や売上げは順調。

ただし、光熱費、材料費、人件費の高騰で利益率は低迷

新たな寄付窓口

産業医科大学病院支援金 個人 1 口 5,000 円以上

産業医科大学教育研究支援募金 個人 1 口 5,000 円以上

[社会貢献]

能登半島地震

災害産業保健センター、産業保健経営学研究室等の教職員が自治体職員の支援のために派遣中（令和 5 年度は延べ 170 名を派遣）

[国際交流]

令和 6 年 4 月 1 日時点で 31 機関と国際交流協定を締結

令和 5 年度は新たに国際労働機関（ILO）など 6 件

産業生態科学研究室は WHO 指定協力機関の認定更新申請中

[業務運営]

第 4 次中期目標・中期計画（令和 4～9 年度）第 3 年度目

大学基準協会（JUAA）令和 3～10 年度（第 3 期）認証取得

日本医学教育評価機構（JACME）令和 5～12 年度認証取得

Cortile Ramazzini（ラマツィーニホール中庭）

元学長東敏昭先生からの寄付により整備（令和 6 年 4 月 4 日お披露目式）

改正私立学校法への対応

理事と評議員の兼業禁止（執行と監視・監督の権限分離）

会計監査人の設置

内部統制システムの整備

定年延長。令和 6 年度から 1 歳/2 年引き上げ。令和 14 年度に 65 歳定年化。

キャリアリターン制度（退職者再雇用制度）導入。70 歳までの高年齢者就業確保措置を実施

障害者差別解消法への対応。障害者支援推進委員会、差別的取扱い禁止、合理的配慮
高年齢労働者産業保健研究センター交流人事。

仁木真司→吉見友弘（元化学物質対策課化学物質評価室）

化学物質管理者を学内4組織に選任。

退職教授（敬称略）

救急・集中治療医学 蒲地正幸

泌尿器科学 藤本直浩

安全衛生マネジメント学 原邦夫

成人・老年看護学 柴田弘子

新任教授（敬称略）

小児科学 深野玲司

安全衛生マネジメント学 東久保一郎

教授選考中

救急・集中治療医学、泌尿器科学、第一生理学、成人・老年看護学、産業・地域看護学

教室のあり方検討中

第一解剖学、公衆衛生学、医学部概論、作業環境計測制御学、第一内科学

3. 担当理事報告

1) 会長（西）

2024年1月29日から2024年5月18日まで

- ・ 1月31日 学長セミナー登壇（ディスカッタント）
- ・ 2月26日 大学案内産推研紹介文作成
- ・ 3月6日 卒業式への祝電
- ・ 4月4日 入学式への祝電
- ・ 4月13日 評議員会
- ・ 4月26日 大学役員者への挨拶周り（意見交換）

2) 総務（佐藤、中谷）

- ・ 2024年5月15日時点の会員総数は971人（前回1月比+11人）となっている。
- ・ 退会者の会員システム上の管理方法について、会計およびシステム管理事務局（アクセライト社）と連携して検討中である。退会者IDをs学籍番号からw学籍番号に変更してシステム上に残し、s学籍番号の情報は削除としたい。これにより再入会時の手続きを本人自身が行うことができる。→理事会内では反対はない。
- ・ 評議員会を4月13日（土）に53人参加予定で実施した。グループ討議では「評議員会のあり方について」「地方会の課題」を討議した。評議員から挙げた意見を本理事会にて審議し、会運営に反映する。
- ・ 「開学初期の先輩会員や地道な活動・活躍をされる会員のお話をもっと聞きたい、会員に共有してはどうか」「地方会の中でも中心都市以外に在住の会員との交流を増やしてはどうか」「評議員が臨床と産業保健の会員をつなぐ、あるいは上の世代と若い世代をつなぐ役割も持つ/持てるのではないか」といったご意見を基に、各地方会で是非お話を聞きたい会員、特に上の世代や中心都市以外の在住者にインタビューを実施して、懇親を図りながら、交流の輪を広げる企画を試行することとなった。
- ・ 第4回功績賞選考作業を進める。6～7月に選考委員会開催、8月に受賞候補者募集、9月に受賞者選考作業と候補者を理事会へ上申、9月の第3回理事会で受賞者決定の予定。
- ・ 評議員の改選作業を進める。6月～現評議員継続意向確認、7～8月に現評議員継続決定および新規評議員募集活動、9月に次期評議員候補者決定、9月の第3回理事会で決定の予定。

3) 会計（守田、本田）

- ・ 第34期第3回理事会にて決定した会費納入確認と未納者への対応を進めている。5月15日時点では3

期末納者 49 人、4 期末納者 147 人である。4 月下旬に 3 期以上の未納者（自動退会の対象）へ納入案内を送った。7 月手前に督促案内を予定する。

- ・ 会費確認作業にて発覚した過払い者への返金を 1 月に実施した。
- ・ 第 35 期の会費納入案内を 1 月から開始し、集金中である。
- ・ 助成金関連
 - ・ 医学部同窓会から 150,000 円（当会では繰越が多いため、有効活用及び今後の申請額の検討が必要）
 - ・ 産業医科大学から 200,000 円
 - ・ 産業医学振興財団 400,000 円（ただし、全国大会を産業医科大学で開催する時は 200,000 円）
 - ・ 櫻風会から 50,000 円
 - ・ 産栄会から 50,000 円
- ・ アクセライト社への委託業務報告
 - ・ 入会処理件数 約 17 件（未入金で処理待ちを含む）
 - ・ 銀行振込処理件数 41 件
 - ・ 領収書発行件数 7 件
 - ・ 会期末の出納帳整理業務

4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

- ・ 主な報告内容
 - 産推研／メンバーシステム HP について
 - 産推研 HP は鈴木さんに委託している。
 - サーバをお名前.com の有償サーバに移行し HTTPS 化完了した。
 - 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。
 - 産推研 ML の運用 について
 - 921 人、1130 件に配信している（2024 年 5 月時点）。
 - 会員には最新情報の登録をお願いする案内を出した。エラーメールが減少した。
 - メンバーシステムからの不達が 67 件ある。（前回理事会時点は 68 件、前々回時点は 80 件）
 - メルマガ発行
 - 年 4 回、地方会予定などを掲載している。
 - 産推研紹介動画作成
 - （※限定公開のため、この PDF ファイルでは URL を省略。2024 年 2 月 8 日投稿の産推研 ML [SSK:007150]に記載。）
 - 評議員 Slack 作成
 - 今後の運用について検討中である。
- ・ 今後の検討内容として、産推研の認知向上、HP の運営、メルマガ等の媒体の活用を考えている。
 - 産業医科大学学生諸君に贈る歌の動画ファイルを産推研広報の YouTube チャンネルに掲載
- ・ HP 等における表記の統一について
 - 『産業医科大学/産業医大』『医学部同窓会/龍ヶ池会』『地方会研究会/例会』『第〇回/〇年度 全国大会』『〇期卒/〇回生』などの表記がある。表記の統一を検討し、今後は『産業医科大学』『医学部同窓会』『〇〇地方会第〇回研究会（通算回数）。ただし、文脈によって〇〇研究会といった略記も可とする。』『第〇回全国大会』『〇期卒』とする。（以前より話題に上がっていた、学部により卒期表記が違うことについても議論し、「〇期卒」で統一と決定した。ホームページ上の卒期表記の統一は本理事会の実施日より行う。）

※以下の表は、以前より産推研ホームページ管理責任者がホームページでの表記を統一する際に実施してきた例として、メーリングリストのページ最下部にも掲載済み。

【HP で使用している表記】	【その他 HP では使用していない表記例】
「産業医科大学」 「産業医大」	「産医大」 ※産医大を使用した固有名詞の場合や、ご発言の引用の場合等はそのまま
「医学部同窓会」 「医学部同窓会（龍ヶ池会）」	「龍ヶ池会」（単独）
地方会の研究会について 「研究会」 「第〇回研究会（通算回数）」 「〇〇地方会第〇回研究会」	「第〇回〇〇地方会」 「第〇回〇〇地方会研究会（※通算回数の記載位置）」 「第〇回例会」 「令和〇年度第〇回…（年度内回数）」
「全国大会」 「第〇回全国大会（通算回数）」	「産推研全国大会」 「令和〇年度全国大会」

5) 研修教育（増田、楠本、樋上）

- 第 34 期理事会研修会「化学物質の自律的管理～リスクアセスメント健診について」を開催した。
講師：宮本俊明先生（日本製鉄東日本製鉄所）
日時：10 月 31 日（参加者数 141 名、後日のアーカイブ視聴も多数）
- 第 35 期の研修会開催も検討を進める。テーマの要望あれば多方面から上げてほしい。

6) 学術（喜多村、池上、久保）

- 産業医学推進研究会の学術面からのサポート：0 件
- 会員向け調査の内容の確認：0 件
- 産業医科大学と産業医学推進研究会の学術面での連携窓口：0 件
- 学術担当理事の活動が少ない状況があり、担当理事内で今後の活動を検討している。

7) IT（清水、橋元、倉岡）

- 共有 Zoom Pro アカウントのライセンス費（現在 2 ライセンス）に 46,000 円/年かかる。毎年 1 月中旬に更新している。ライセンス費用は値上がり傾向にある。
- Zoom Pro アカウントの使用が年 20 回未満であれば、開催毎に主催者が月極契約する方が安い（2,125 円/月）。現在の年間の使用機会概算は Zasso12 回、理事会 3 回、評議員会 1 回、地方会 3 回である。

4. 地方会報告

1) 関東（小笠原）

- 第 84 回研究会
日時：2024 年 2 月 25 日（日）14:00～17:00
会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8F & オンラインのハイブリッド
テーマ：チーム連携
産推研関東地方会事務局によるアンケート・ケース作成/参加者による討議
参加者 15 名（現地 12 名/オンライン 3 名）
- アリスの会・産推研関東地方会後援
日時：2024 年 3 月 9 日（土）14:00～17:00
会場：エッサム神田ホール こだまホール（ハイブリット開催）
職域多施設研究（J-ECOH スタディ）第 130 回検討会
演者：上田陽一先生（産業医科大学）/宮本俊明先生（日本製鉄株式会社）/溝上哲也先生（国立国際医療研究センター）参加者数：55 名（現地 30 名/オンライン 22 名）
- 第 85 回研究会
日時：2024 年 7 月 6 日（土）14:00～17:00
会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8F（ハイブリット開催）

テーマ：能登半島地震にかかる産業保健支援

講師：立石清一郎先生（産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター）

- ・ 関東地方会会計報告があった。

2) 東海（高畑）

- ・ 第29回研究会

日時：2024年3月9日（土） 現地開催 14:00～16:45

会場：ウインクあいち 1003 会議室

<基調講演> 富田 晃行 先生（三菱電機名古屋製作所，医4期卒）

<活動報告> 田中 みき 氏（トヨタ自動車，専攻科15期卒）

<話題提供> 自律的化学品管理について（環境マネジメント学科卒の立場から）

- ・ 第30回研究会

日時：2024年8月31日（土） 現地+オンライン開催 14:00～16:45

会場：ウインクあいち

<基調講演> アルコール依存について（NPO法人アスク会長 今成知美氏）

ギャンブル依存について（ギャンブル依存症問題を考える会 代表 田中紀子氏）

- ・ 東海地方会会計報告があった。

3) 近畿（深井）

- ・ 第51回研究会

テーマ：「精神障害の認定基準、過重労働チェックリストの変更に関して現場で対応が必要なこと」

日時：2024年4月6日（土） 14:30～17:00

会場：AP 大阪駅前（後日、オンデマンド配信予定）

参加人数：現地参加23名、懇親会16名（オンデマンド登録51名）

【演者】 吉川徹先生（労働安全衛生総合研究所，医13期卒）

4) 九州（浅海）

- ・ 2023年10月14・15日 第35回全国大会／第41回産業医科大学学会・国際シンポジウムとの共催

ハイブリッド開催：参加総数198名（現地132名、オンライン66名）

- ・ 2024年1月20日 第52回研究会／産衛九州地方会 医部会研修会との共催

“人間工学的腰痛リスク評価に関する国際規格の概要”

演者：谷直道先生、座長：井元智映子、池上和範”

現地開催：参加総数36名（うち会員21名）

- ・ 2024年7月13日 第53回研究会

“Solution Focused Approach；解決志向アプローチ 日本SFA理事 平田奈々先生”

“産業保健の魅力・中谷先生を囲む会 産業医科大学 中谷淳子先生”

5. 第35回全国大会開催報告

- ・ 大会後の記録集はgrapestone worksに委託し作成、3月初旬に210部納品された。

産業医科大学：200部購入、大学以外の来賓：10部贈呈、産推研参加者：PDF配布

- ・ 会計とりまとめ後に報告予定

6. 第36回全国大会開催準備状況（深井）

日時：2024年10月26日（土） （27日：産推研ゴルフコンペ予定）

会場：大阪市中央公会堂 大阪府大阪市北区中之島1丁目1-27

開催方法：現地開催（+オンデマンド配信）

テーマ：Borderless ～世代・職種を超えた繋がりを創る～

大会長 深井恭佑（医26期卒）

事務局長 堤雄介（医 27 期卒）、伊藤遼太郎（医 33 期卒）、福田郁巳（看 8 期卒）

スケジュール案

- 11:00 来賓、講師、座長等集合 @小集会堂
- 11:30 総会 @中集会堂
- 12:30 開会 @中集会堂
- 13:00 企画 @中集会堂
- 17:00 総括、閉会挨拶、記念撮影 @中集会堂
- 17:30 表彰式 @小集会堂
- 18:00 懇親会 @中集会堂

7. 医学部同窓会（西）、櫛風会（樋上）

- ・ 同窓会誌『赤煉瓦』に学長と同窓会幹部の座談会記事が掲載される予定。
- ・ 櫛風会では衛生工学衛生管理者の支援事業を行っている。

8. 今後の日程

- ・ 理事会（現地&オンラインのハイブリッド形式）
第 35 期第 3 回 9 月 28 日（土）13:00～16:00
- ・ 第 36 回全国大会・第 36 期総会：10 月 26 日（土）

以上